

令和2年度
国立のぞみの園セミナー

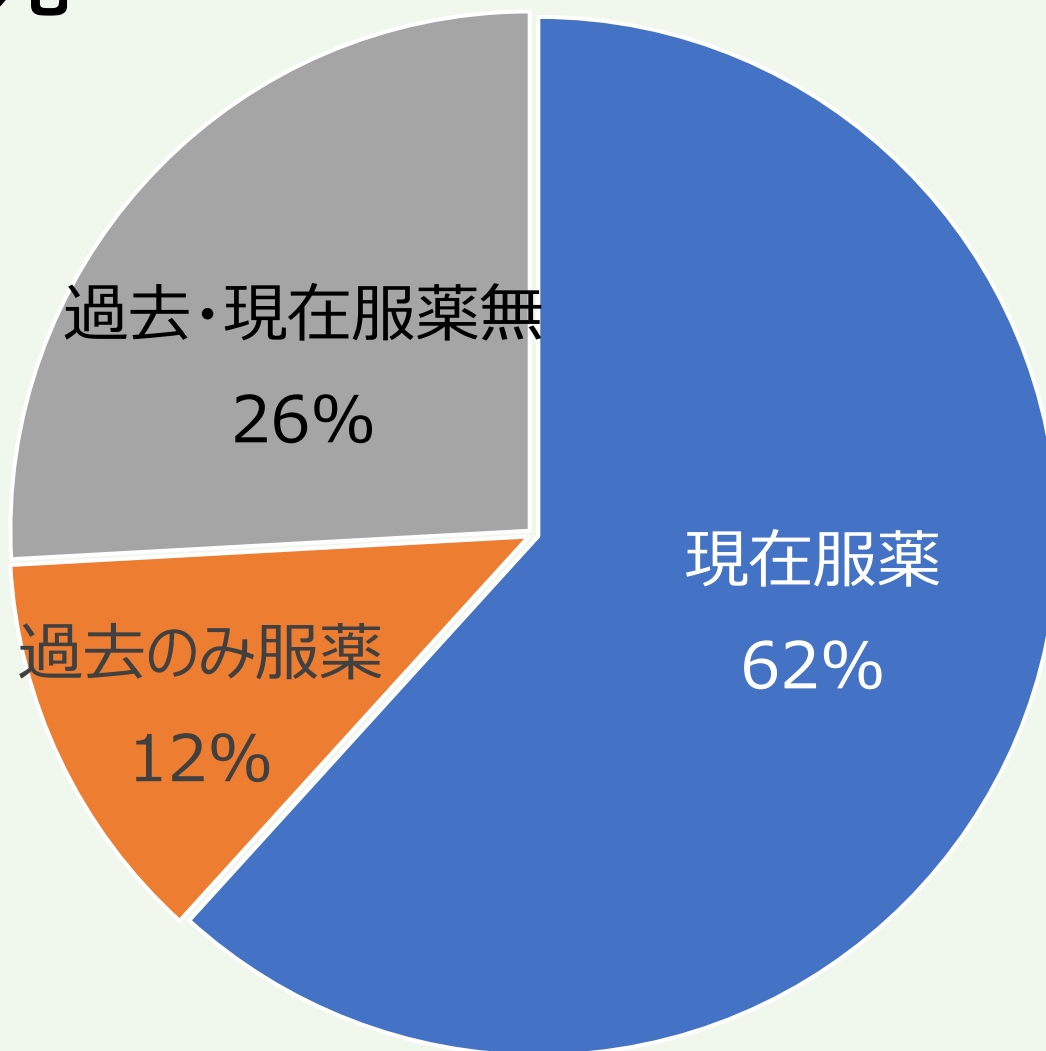
知的・発達障害者の健康管理のポイント
ー健康管理をサポートしている
看護師の立場よりー

看護師 根本 昌彦

知的・発達障害者の
健康状態ってどうなの？



服薬状況



NPO法人東京都自閉症協会「発達障害者のための精神科医療について期待すること、改善してほしいこと」2018から根本作成

入所施設を利用する知的・発達障害者の健康診断実施状況

- 定期健康診断受診率100%の施設：87.0%
- 特定健康診査に準拠した項目の実施施設：**14.8%**
- その他の検査項目の実施施設：**HbA1c 58.3%**
 - **心電図76.5%** • **眼底検査4.3%**
 - **胃部レントゲン13.9%** • **子宮がん15.7%**

知的・発達障害者の状況（居宅）

睡眠習慣が崩れている

服薬指示が守れない

風呂で洗えない

爪切りができない

食習慣が崩れている

お尻が拭けない



支援が届き難いところ

高齢の知的・発達障害者の状況

貧困
(路上生活)

生活習慣病重複

不潔が平気

依存症

服薬指示が守れ
ない

感染症



老後では間に合わない

罹りやすい、発見し難い、予防し難い

- 生活習慣などの影響により健康問題が高率に発生しやすい。（肥満、肝機能障害、感染症等になりやすい）
- 訴えが少ないため発見が遅れやすい。
（重症化しないと発見し難い）
- 医療機関が知的障がい者の対応に不慣れなため治療が遅れやすい。（受診障壁がある）
- 予見に基づく自己防衛が苦手。

サービスの向上と課題

第5段階 自己実現の欲求

第4段階 承認欲求

第3段階 所属と愛の欲求

第2段階 安全欲求

第1段階 生理的欲求

支援で補いたいところ

第5段階 自己実現の欲求

第4段階 承認欲求

第3段階 所属と愛の欲求

第2段階 安全欲求

第1段階 生理的欲求

どうやって
健康を守るの？

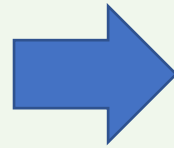


キーワード

- 一次予防
(セルフケア)
- 二次予防
(フィジカルアセスメント)
- 三次予防
(早期回復に向けたコーディネート)
- 看護の機能

一次予防 (セルフケア)

できるようになる



出来てるはずが出来てない

Episode（入浴）

- 就労支援を利用する方々、キャンプにて
- 入浴時、満足に洗えない利用者が多数
- 短期入所で再チェック
- 入所職員との連携で洗髪方法を練習
- 自分でできるようになった

支援でスキルを身につける (一部or全部)

清潔（入浴、歯磨き、手洗い、爪切り）、
排泄、生理（女子）、睡眠、食事、衣服、
感染対策（性病予防）、心理ケア
受診、服薬、体調不良の伝達、

P o i n t



- ① 定期的に確認する
- ② 情報を支援者や家族と共有する
- ③ 本人メリット（生きづらさの解消）を優先する
- ④ 長期視点を持つ（老後を健康に過ごす）

二次予防 (フィジカルアセスメント)

支援者が見つける
受診する



見つける（観察する）

Episode（生理痛）

- 入所の強度行動障害の女性、他傷（噛む）
- 生理状況を確認したところ、他傷時期と一致
- （仮説）生理痛？
- 医師と相談し生理時に合わせ鎮痛薬を内服
- 他傷が減少

食事

【時間、量、嗜好、水分】

- 何をどのくらい食べたのか、飲んでいるか
- 時々、記録してみると発見がある
- 精神状態と関係していることもある
- 消化器疾患の発見にもつながる



体の調子を知る手掛かりは沢山！

脈拍（心拍数）・呼吸数・血圧・体温・意識レベル・血中酸素飽和度・腹部聴診音・胸部聴診音・顔・口唇色・生理・体重・体液・尿・排便の量や性状・嘔吐物・創部・皮膚状態（乾燥・発赤など）・外観・歩行状態・睡眠・…………

見つける（健康診断）

Episode（心電図）

- 重度の知的発達障害者
- 心電図は行ってこなかった（難しそう）
- 医師と支援者と連携（環境配慮）
- 2年目で全員検査受診

嫌なことはできるだけ減らす



- 自分の部屋
- 知っている支援員
- 普段着
- 数日前から機械に慣れる
- できるだけ短時間で



医療との関係が良ければ生き易い

- 血圧測定 体温測定 身体計測
- 聴診
- 注射（採血 予防接種）
- 画像診断（CT MRI 単純撮影 バリウム検査）
- 心電図
- 視力検査 聴力検査
- 婦人科健診（乳がん、子宮がん）
- 検尿 検便
- 服薬（錠剤 散薬 カプセル 水薬 軟膏 点眼）
- 各種治療（ギプス 点滴 手術 創部保護）

P o i n t



- ① フィジカルの情報（食事、睡眠、等）
- ② 行動の情報（自傷他傷、パニック、等）
- ③ ①②を見える化する（図表化する）
- ④ 関連性を推理する（仮説を立て検証する）

三次予防

(早期回復に向けたのコーディネート)

回復に必要な
支援と調整



コーディネート Episode（白内障）

- 家族は一刻も早く手術をしてほしいと要望
- 支援者は、術前後の支援が手探り状態
- 術後も入院可能な病院が見つからない

福祉面と医療面で課題が山積



家族、支援者、医療機関に施設の看護師が
コーディネート

コーディネーター Episode（白内障）

支援課題が明確になった

- 1週間、目を触らないよための工夫（身体拘束）が必要？
- 数日間の間、数種類の点眼が必要！
- 緊急時（目が腫れるなど）対応計画が必要！
- 以上を24時間 1 : 1 で対応する体制が必要？

コーディネート Episode（白内障）

- 車いすに乗り抑制が可能かを検証したが、暴れた！
 - 念のため、身体拘束の契約を取り交わした
 - 準備した玩具で気を紛らわすことができた
- ゴーグルの使用を進めたが放り投げた！
 - 術後の眼帯が気に入り目に触らず経過良好
- 障害者支援経験者で夜間付き添える家政婦を探した！
 - 家政婦さんと慣れ親しみ、術後ながら楽しく過ごせた

短期間ながら有効な支援ができた
手術に対する家族や支援者の不安が軽減した

P o i n t



キュアとケア（日常の健康管理を実行する者と
検診や疾病の治療を実行する者）双方が連携
すれば医療環境は向上する。

連携を行う者には以下のスキルが望まれる

- ・専門的領域の理解があること
- ・基直接的かつ間接的に関わること
- ・ソーシャルワークができること

看護の機能 (看護師ができること)

実践と指導と
コーディネート



看護師の役割



- 日常内服する薬のセット
- 健康管理（体調不良者への対応）
- 通院付き添い
- 健康診断や予防接種の企画実施
- 嘱託医師の診療の補助
- その他（会議、記録など）

看護師が出来ること



【セルフケア】

- 障害特性に応じた、セルフケア支援の実践と指導

【フィジカルアセスメント】

- 障害特性に応じた、フィジカルアセスメントの実践と指導。
- 通院（健診含む）支援

看護師ができること 【コーディネート】



キュア

「日常の健康管理」

実施者：家族、支援員等

看護

直接、間接
的関わり
コーディネート

ケア

「検診や疾病の治療」

実施者：地域医療機関、
施設看護師等